

# まち協連絡帳

第56号

## 1. お知らせ

①令和2年度事業報告書の準備について

12月末に会計年度が終了するまち協があり、ますので、実績報告について、予めお願いや注意点をお知らせします。

### (1) 報告期限

事業の完了後速やかに(4月中旬)

### (2) 提出書類

- ①実績報告書、②収支決算書、③領収書(写)、④事業写真、⑤その他関係書類(チラシ・パンフレット・事業開催案内等)

### (3) 注意点

①領収書のあて名は、まちづくり協議会名。(すべての領収書に記入) ②事業報告書は、部会ごとに、又は主な事業ごとに作成。

### ③ 事業報告書には、事業名・目的・内容・参加者数等を記入。

④領収書や関係書類(チラシ等)は、事業報告書ごとに添付。

ご不明な点は、お問い合わせください。

## 2. 紹介

### ① DVDで音楽鑑賞(向渕地区まち協)

10月17日、向渕地区まちづくり協議会(山下征一郎会長)は、地区内にある龍王ヶ淵が舞台となったDVD「森への贈り物」の鑑賞会をやまびこホールで開催しました。

参加者を20名以下に制限し、手指の消毒、マスクの着用、座席の間隔を広くする等のコロナウイルス感染防止対策をした上で開催し

ました。

毎年この時期には、「向渕フェスティバル」を開催して、地域の人の手作り作品等の展示をしたり、屋内ホールで軽スポーツをしたり、屋外でグラウンドゴルフをしたりするなど地域のふれあいを深める活動をするのですが、今年にはコロナ禍の影響を考慮して計画を変更し、11月25日には映画会も開催しました。



間隔をあけて鑑賞

### ② 田口再発見ツアー(田口地区まち協)

10月31日、田口地区まちづくり協議会(田中視郎会長)は、住む地域をよく知ることと体力増進、地域住民の交流を図る活動として、「田口再発見ツアー」と題して地区内を参加者18名でウォーキングを行いました。交通手段は徒歩と自動車の乗り合わせで行いました。

コースは、ふるさと元氣村を出発し、金毘羅神社、弁財天の丘、秋葉神社、南松の滝へと進み、ふるさと元氣村に戻る計画としました。

県道や太い道は自動車を使い、降車後は前を歩く人の後について、急な石段や細く険しい山道を通ったり、川の中の石の上を歩いて向う岸に渡ったりするなど、日常生活ではあまり通行しない

所も注意しながら歩きました。

それぞれの目的地では、当該地域に住む会員が、予め調べた歴史等を伝説やいわれを交えて丁寧に説明してくれました。それぞれの地域に住む人しか知らないような話も聞かせてもらえたので、みんな目を輝かせて聞いていました。

晴れ渡った秋空の下で、紅葉の始まった田口地域を歩いた参加者は、温かい日差しの中で持参したお弁当を食べるなど、健康的で楽しい一日に満足していました。



南松の滝での説明

## 編集後記

▼11月に入り、朝夕はめっきり寒くなってきました。日中は温かいので、こまめな衣服の調整が必要です。風邪やインフルエンザにも注意を要する季節になりました。▼コロナ禍により、外出する機会が減少して運動不足となりがちです。また寒くなると屋外での活動も少なくなります。今後、室内でできる体力作りが、健康維持のためには欠かせないものになりそうです。本格的な取り組みが必要だと思います。▼

### 連絡・お問い合わせ先

室生地域づくりアドバイザー 藤田善弘  
宇陀市室生大野164  
1番地 ☎0745-9212001  
IP ☎0745-921181